

## 発生土置き場に関する対話の進め方

### 1 基本的な進め方

- ・ まずは、本日、これまでの論点（**2 これまでの論点**に記載）等について、JR東海から説明
- ・ その上で、以下のように対話
  - ① 候補地（※）のうち、これまで一定の議論がされてきた「ツバクロ」は、まず「位置選定」を中心に対話をし、次に「盛土構造」「排水」について対話する。
    - ※ 「ツバクロ」「イタドリ」「藤島」「中ノ宿2」「中ノ宿3」「荊石
  - ② 「藤島」は、まず「要対策土」への対応の観点から対話する。
  - ③ それ以外の候補地は、これまでの対話が進んでいないことを踏まえ、より基本的な部分から対話を進める。
    - 「荊石」は、静岡県立自然公園条例の特別地域（※1）に指定されていることを踏まえることが必要。

※1 自然公園の風致を維持するため、公園計画に基づいて指定された区域。工作物の新增改築等の一定の行為は、許可が必要。

## 2 これまでの論点

### ○ 位置選定（ツバクロ）

- ① 周辺の尾根部には二重山稜が発達する等、ツバクロの盛土が適地か、広域的な診断が必要
- ② 地震の発生に伴う山体の崩壊を想定した説明が不足
- ③ 大井川で河道閉塞した場合の影響（河川管理上の影響を含む）
- ④ 上千枚沢の千枚崩れに加えて、下千枚沢・車屋沢、燕沢や崩壊地等からの土石流等が同時多発も想定されるため、広域的で複合的なリスク
- ⑤ ツバクロ発生土置き場により、谷幅が狭められ、対岸の侵食による斜面崩壊の発生リスク
- ⑥ 燕沢付近の扇状地は土石流を受け止める緩衝地帯として機能していたが、ツバクロ発生土置き場の造成により、土石流の緩衝地帯としての機能が低下することへの影響確認
- ⑦ 土砂崩壊のシミュレーション条件の確認（千枚崩れの崩壊土砂量は過少との指摘）

### ○ 盛土構造（ツバクロ）

- ⑧ 河道閉塞による発生土置き場への影響
- ⑨ 土石流や天然ダム崩壊等に伴う発生土置き場盛土の侵食リスク
- ⑩ 地震時の安定性（有限要素法解析）
- ⑪ リスク管理（モニタリング、維持管理、リスクへの対応）

### ○ 排水（ツバクロ）

- ⑫ 排水施設
- ⑬ 排水処理（濁水等、自然由来の重金属等を含む排水）
- ⑭ リスク管理（モニタリング、維持管理、リスクへの対応）

### ○ 要対策土（藤島）

- ⑮ 要対策土の処理方法の確認（域外処理、オンサイト処理、盛土条例（土砂基準）への対応）
- ⑯ 要対策土の分析ロットと分析頻度
- ⑰ リスク管理（モニタリング、維持管理、リスクへの対応）